さまざまな方法で撮影する

目的に合わせて撮影モードを切り替えて撮影できます。また、カメラのはたらきをお好みで設定することもできます。

撮影モードを切り替える

撮影モードの種類は、次のとおりです。

種類	説明
＋	SHSHOWのサイトからカメラアプリをダウンロードし、撮影モードの1つとして追加することができます。
おまかせオート	被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
標準	標準的なモードです。
人物	人物撮影に適したモードです。
夜景＋人物	夜景での人物撮影に適したモードです。
風景（自然）	風景撮影に適したモードです。
夜景	夜景撮影に適したモードです。
料理	料理を撮影するのに適したモードです。
テキスト	テキストを撮影するのに適したモードです。
セピア	セピア効果で撮影するモードです。
モノクロ	モノクロ撮影するモードです。
銀残し	銀残し効果で撮影するモードです。
多焦点撮影	多焦点で撮影するモードです。
魚眼レンズ	魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。
ミニチュア効果	ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。
全天球撮影	全天球撮影（Photo Sphere）に対応した、Googleのカメラアプリを起動します。
パノラマ	パノラマサイズで撮影するモードです。
翻訳ファインダー	翻訳ファインダーを起動します。
検索ファインダー	検索ファインダーを起動します。
読取カメラ	読取カメラを起動します。
手鏡	インカメラを利用して、手鏡のように自分を映すモードです（撮影はできません）。

1

アプリシートで （SHカメラ）

静止画撮影画面が表示されます。

2

→ （モードボタン） → 撮影モードをタップ

撮影モードが切り替わります。

・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

カメラのはたらきを設定する

1

アプリシートで （SHカメラ）

静止画撮影画面が表示されます。

2

利用する撮影モードや動画撮影画面に切り替える

・撮影モードの切り替えについて詳しくは、「撮影モードを切り替える」を参照してください。
・動画撮影画面の切り替えについて詳しくは、「動画を撮影する」を参照してください。

3

／ → （設定）

設定画面が表示されます。

4

設定項目をタップ → 各項目を設定

設定が完了します。

おもなカメラの設定

設定画面で設定できるおもな項目は、次のとおりです。

・撮影モードによっては、設定できない項目があります。

設定項目	説明
ISO感度[1]	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定できます。
ホワイトバランス	撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
セルフタイマー	セルフタイマーで撮影できます。
ワンタッチシャッター[1]	撮影画面をタップして撮影するように設定できます。
フォーカス設定	フォーカス方法を設定できます。
手ぶれ軽減[1]	手ぶれを軽減するかどうかを設定できます。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面に縞模様が出にくくなるように設定できます。
保存先設定	撮影した静止画／動画の保存先を変更できます。
カメラ操作ヘルプ[1]	カメラの使いかたを表示します。
フレーミングアドバイザーヘルプ[1]	フレーミングアドバイザーの使いかたを表示します。
機能紹介[1]	機能を確認できます。
マイク[2]	マイクのON／OFFを設定できます。
微速度撮影間隔[2]	動画をコマ落としで撮影するように設定できます。
ヘルプ[2]	ビデオカメラの使いかたを表示します。

1　静止画撮影で利用できます。
2　動画撮影で利用できます。